

2021年11月18日

各 位

会 社 名 株式会社オリエントタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(JASDAQ・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社中央設計技術研究所 見附市より優良工事表彰を授与されました

当社グループの事業会社である株式会社中央設計技術研究所（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：笠松英昭）は、令和3年11月11日、見附市より、優良工事表彰を授与されました。本工事は、老朽化の著しい青木浄水場について、良質でおいしい水を安定的かつ継続的に供給することを目的として行った施設の更新事業で、発注方法は水道関係施設としては新潟県内では初めてのDBO(Design Build Operate)方式により、設計・施工・運転管理まで一括して発注を行ったものです。

DBO方式のメリットを活かし、設計段階で施工部門、運転管理部門との協議を密に行い、現場施工や運転管理業務の効率性・安全性に配慮する等、受注者の高度な技術力、知見やアイデアを最大限に引き出し設計・施工に反映されました。また、設計作業と並行して施工可能箇所の手続きを進め、現場土質条件の変化等を随時、設計部門へフィードバックし柔軟に対応する等、臨機の措置を適切に行うと共に、余裕を持った工事進捗を行いました。

工事期間中は豪雨、豪雪、猛暑、新型コロナウイルスなど様々な外的要因への対応が必要であり、工事の安全対策に注力し施工を進めました。また、大規模で工種も多岐にわたる工事でありましたが、ドローン写真や3D_CADの活用による工種間の連絡調整をはじめ、クラウドを利用した受発注者間での情報共有により、双方のコミュニケーションの円滑化を図る等、ICTも積極的に取り入れました。これらICTの活用は、良好な現場の出来ばえを確保しただけでなく、品質と安全性の向上を実現し、工事写真などの竣工書類の整理にも反映されていました。

本事業がDBO方式の好事例として取り上げられる中、県内外の水道事業者や関係機関等の視察を積極的に受け入れた他、工事専用ウェブサイトを開設し、広く情報発信を行い工事の見える化に努めた点なども評価され、今回の表彰に至りました。



着手前



竣工



新青木浄水場外観



膜ろ過棟



膜ろ過設備



中央監視室



電気室



脱水機棟



脱水機



沈砂池兼原水調整池



安全パトロール 作業員への安全教育
ドローン写真の活用 安全施工審査会

安全パトロールの徹底、ドローン写真を使った作業間調整、安全施工審査会の実施等による労働災害撲滅。



作業員への表彰 作業員からの報告

作業員全員参加のヒヤリハット活動による危険要素の排除。



バックホウ用「メット・センサー」
別添1「適正なバックモニタの設置」
（メーカー、レンタル会社別）

バックモニタ、警報装置付き油圧ショベルの使用による作業安全性の向上。



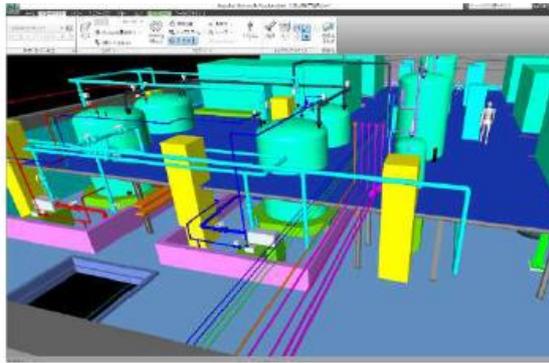
VRを利用した安全教育や録画式ウェブカメラの導入等、ICT技術の積極的活用。

VRを利用した安全教育や録画式ウェブカメラの導入等、ICT技術の積極的活用。



連続式Rコンクリート水分量計による
コンクリートの品質管理。

連続式Rコンクリート水分量計によるコンクリートの品質管理。



3D CADの利用による設計品質、
現場施工性の向上。

3D CADの利用による設計品質、現場施工性の向上。



クラウド上での情報共有による受発注者間のコミュニケーションの円滑化。

クラウド上での情報共有による受発注者間のコミュニケーションの円滑化。



工事専用ウェブサイトの開設による
工事情報の見える化。

工事専用ウェブサイトの開設による工事情報の見える化。

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社 中央設計技術研究所
TEL：076-263-5070 FAX：076-263-9442
URL：<https://www.cser.co.jp/>
本社 技術統括本部 市村 博